

令和6年度	担当時間 1年次後期	講義担当者	
科目名 小児看護学概論	単位数 1単位	小田桐由紀子、山形祐子	
時間割表記名 小児概論/小児保健	時間数 30時間(15回)		
事前学習内容 シラバスを参考にし、関連する教科書の内容を読んでおいてください。 配布した資料の内容につき、適宜復習しましょう。			
科目全体のねらい・授業目標 1. 小児期の特徴と健康な小児の成長・発達を理解する。 2. 小児保健活動と保健医療福祉の連携を学ぶ。 3. 小児看護の基本概念・看護の目的と役割を理解する。 4. 健康な小児の日常生活とその世話を学ぶ。			
授業の流れ(全体のスケジュール(回数)・学習内容・方法・学習成果・使用テキスト・準備物品等)			
回	学習内容と成果	方法	備考
1	小児看護の特徴と理念①小児看護の目指すところ、統計、変遷を理解できる	講義	教科書、資料、山形
2	小児看護の特徴と理念②小児看護の倫理、課題を理解できる	講義	教科書、資料、山形
3	小児の成長・発達①成長・発達とは、成長・発達の進み方を理解できる	講義	教科書、資料、山形
4	小児の成長・発達②成長の評価、発達の評価を理解できる	講義	教科書、資料、山形
5	子どもの栄養を理解できる	講義	教科書、資料、山形
6	小児と家族を取り巻く社会①児童福祉、母子保健を理解できる	講義	教科書、資料、山形
7	小児と家族を取り巻く社会②予防接種、学校保健、特別支援教育を理解できる	講義	教科書、資料、山形
8	家族の特徴とアセスメントを理解できる	講義	教科書、資料、小田桐
9	新生児期の特徴を理解できる	講義	教科書、資料、小田桐
10	乳児・幼児期の特徴を理解できる	講義	教科書、資料、小田桐
11	学童・思春期の特徴を理解できる	講義	教科書、資料、小田桐
12	病児に対しての家族の役割を理解できる	講義	教科書、資料、小田桐
13	乳児・幼児期の特徴と養育及び看護を理解できる	講義	教科書、資料、小田桐
14	学童・思春期の特徴と養育及び看護を理解できる	講義	教科書、資料、小田桐
15	試験	筆記試験	
<p>※筆記試験は各科目の合計点を100点満点とします。</p> <p>配点：小児概論 50点 小児保健 50点</p> <p>※各講師の講義終了後、各試験があります。6割未満は不合格となります。</p>			
受講上の注意 小児看護の基盤は、生まれた子どもを健康に育てるということです。健康な身体をつくり豊かな心を養うことは、幸せに生きていく必要条件です。 小児看護の概念や特徴、小児を取り巻く社会や法律・制度を学びましょう。また、子どもの特性を理解し、健康な生活を送るための小児看護の基礎を共に学びましょう。		評価方法 筆記試験 課題提出 出席状況	
使用するテキスト 小児看護学(1) 系統看護学講座 医学書院			
参考文献			

令和6年度		配当時間 1年次前期	講義担当者
科目名	保健医療論	単位数 1単位	上谷英史
時間割表記名	保健医療論	時間数 15時間(7回)	
事前学習内容 教科書、資料等を読みましょう。授業後、復習しましょう。			
科目全体のねらい・授業目標 1. 保健医療福祉に関する基本概念を理解する。 2. 医療従事者に求められる社会的責任・役割・倫理を理解する。			
授業の流れ(全体のスケジュール(回数)・学習内容・方法・学習成果・使用テキスト・準備物品等)			
回	学習内容と成果	方法	備考
1	健康について理解できる	講義	教科書、資料
2	医療システムについて理解できる	講義	教科書、資料
3	日本の保健医療制度について理解できる	講義	教科書、資料
4	在宅ケアの推進について理解できる	講義	教科書、資料
5	高齢者ケアシステムについて理解できる	講義	教科書、資料
6	災害医療 災害医療災害医療 ノーマライゼーションへの道について理解できる①	講義	教科書、資料
7	災害医療 災害医療災害医療 ノーマライゼーションへの道について理解できる②	講義	教科書、資料
8	試験	筆記試験	
受講上の注意 人々の健康と生活に対する保健医療の役割と動向について学び、医療従事者に求められる社会的責任・役割・倫理について考えることができるようになります。			評価方法 出欠状況 筆記試験 課題提出
使用するテキスト 学生のための医療概論 第3版増補版 : 医学書院			
参考文献			

令和6年度		配当時間 1年次前期・後期	講義担当者
科目名	臨床外科学	単位数 1単位	八木橋信夫、村岡正敏、吉田仁、畑中 亮、千代谷真理、伊藤真弘、鈴木貴弘
時間割表記名	臨床外科総論、臨床外科各論	時間数 30時間 (15回)	
事前学習内容 教科書、資料等を読みましよう。授業後、復習しましよう。			
科目全体のねらい・授業目標 外科総論 1. 麻酔と手術が人体に及ぼす影響・侵襲を理解する。 2. 外科的診断と処置・麻酔法の基本を理解する。 外科各論 1. 外科的治療の対象となる疾患、手術様式を理解する。 2. 各手術の特徴と術前・術後管理について理解する。			
授業の流れ (全体のスケジュール (回数) ・学習内容・方法・学習成果・使用テキスト・準備物品等)			
回	学習内容と成果	方法	備考
1	外科医療の基礎について理解できる	講義	教科書、資料、八木橋
2	創傷治療と外科治療について理解できる	講義	教科書、資料、八木橋
3	外科的治療の実際について理解できる	講義	教科書、資料、八木橋
4	麻酔科学について理解できる	講義	教科書、資料、村岡
5	出血死について理解できる	講義	教科書、資料、吉田
6	緩和医療について理解できる	講義	教科書、資料、伊藤
7	腹部消化器外科 (食道、胃・十二指腸) について理解できる	講義	教科書、資料、伊藤
8	腹部消化器外科 (腸・腹膜) について理解できる	講義	教科書、資料、伊藤
9	腹部消化器外科 (肝臓・肝外胆道系、膵臓) について理解できる	講義	教科書、資料、伊藤
10	腹部消化器外科 (脾臓、門脈、膵臓、ヘルニア、副腎)	講義	教科書、資料、伊藤
11	循環器外科 (心臓) について理解できる	講義	教科書、資料、千代谷
12	循環器外科 (血管) について理解できる	講義	教科書、資料、千代谷
13	呼吸器解剖・生理・検査等について理解できる	講義	教科書、資料、畑中
14	呼吸器疾患 (肺がん・気胸) 看護について理解できる	講義	教科書、資料、畑中
15	乳腺の疾患について理解できる	講義	教科書、資料、鈴木
16	試験	筆記試験	
<p>※評価は、臨床外科総論と臨床外科各論の平均点となります。</p> <p>※外科総論100点満点 (八木橋先生50点満点+村岡先生25点満点+吉田先生25点満点)</p> <p>※外科各論100点満点 (千代谷先生25点満点+畑中先生25点満点+鈴木先生20点満点+伊藤先生30点満点)</p> <p>※各講師の講義終了後、各試験があります。6割未満は赤点となります。</p>			
<p>受講上の注意</p> <p>外科的治療を受ける患者は、共通の特徴を持っています。手術は、生体への侵襲を伴う治療法である。外科医療の基礎、外科的治療を要する疾患・症状、治療の実際を学び看護に繋げましよう。</p>			<p>評価方法</p> <p>出欠状況 筆記試験</p>
<p>使用するテキスト</p> <p>1～8回：別巻 臨床外科看護総論 : 系統看護学講座 医学書院</p> <p>9～18回：別巻 臨床外科看護各論 : 系統看護学講座 医学書院</p>			
<p>参考文献</p>			

令和6年度	配当時間 1年次前期	講義担当者	
科目名 人間工学	単位数 1単位 (安全工学含む)	高橋純平、横田純一、後藤武	
時間割表記名 人間工学、安全工学	時間数 30時間 (15回)		
事前学習内容 教科書、資料等を読みましよう。授業後、復習しましよう。			
科目全体のねらい・授業目標 1 人間の動作・作業における力学の基本や物理学的原理・原則を理解する。 2 インシデントやヒューマンエラーが生まれる要素を知り、安全性を追求・改善するためのシステムについて理解する。			
授業の流れ (全体のスケジュール (回数) ・学習内容・方法・学習成果・使用テキスト・準備物品等)			
回	学習内容と成果	方法	備考
1	人間工学について理解できる	講義	教科書、資料、高橋
2	人間工学とボディメカニクス①を理解できる	講義	教科書、資料、高橋
3	人間工学とボディメカニクス②を理解できる	講義	教科書、資料、高橋
4	人間工学とボディメカニクス③を理解できる	講義	教科書、資料、横田
5	人間の諸特性と姿勢動作を理解できる	講義	教科書、資料、横田
6	人間工学の応用について理解できる	講義	教科書、資料、横田
7	看護への人間工学応用を理解し動作介助方法を実施できる	講義、演習	教科書、資料、横田
8	臨床工学士の役割について理解できる	講義	後藤
9	医療安全の考え方を理解できる	講義	後藤
10	医療事故について理解できる	講義	後藤
11	医療事故発生後の対応について理解できる	講義	後藤
12	安全工学に関わる国家試験問題について理解できる	講義	後藤
13	医療事故調査報告制度について理解できる	講義	後藤
14	手術部チェックリストについて理解できる	講義	後藤
15	試験	筆記試験	
<p>※評価は、人間工学と安全工学の合計100点満点になります。</p> <p>※点数配分は、人間工学 (高橋先生25点、横田先生25点) 安全工学 (後藤先生50点) になります。</p> <p>※各講師の講義終了後、各試験があります。6割未満は不合格となります。</p>			
受講上の注意		評価方法	
<p>※人間とモノとの関わりとボディメカニクスの理屈を理解し、効率的かつ安全な看護動作を選択し、実施できるようになりましよう。</p> <p>※ヒューマンエラーとは何かを知り、危険予知ができるようになりましよう。</p> <p>※ヒューマンエラーを回避するため安全対策を考えることができるようになりましよう。</p>		<p>筆記試験</p> <p>出席状況</p>	
使用するテキスト			
1~7回：小川鑛一：看護動作を助ける基礎人間工学 東京電機大学出版局			
8~14回：なし			
参考文献			
小川鑛一、鈴木玲子、他：看護・介護のための人間工学入門，東京電機大学出版局 2006			

令和6年度	配当時間 1年次後期	講義担当者	
科目名 精神看護学概論	単位数 1単位	渡部菜穂子	
時間割表記名 精神保健/精神概論	時間数 30時間(15回)		
事前学習内容 テキストに目を通して講義に臨みましょう。			
科目全体のねらい・授業目標 1 精神(心)の構造と働きについて理解できる。 2 心の健康と発達から精神障害を捉えることができる。 3 現代社会の特徴と、心の健康問題について理解できる。 4 精神障害とその苦しみを知り、精神看護を学び、実践するものとしての視点や態度を理解できる。			
授業の流れ(全体のスケジュール(回数)・学習内容・方法・学習成果・使用テキスト・準備物品等)			
回	学習内容と成果	方法	備考
1	人間の心の諸活動としくみについて理解できる	講義	渡部
2	心のしくみと人格の発達について理解できる	講義	渡部
3	対象関係論を学び、対象との関係の中で自己が形成される過程を理解できる	講義	渡部
4	看護の対象としての家族と集団について理解できる	講義	渡部
5	精神障害と法制度について理解できる	講義	渡部
6	学校・職場における精神保健と精神看護について理解できる	講義	渡部
7	精神障害と法制度について理解できる	講義	渡部
8	試験		
9	現代社会における精神保健・看護ニーズの高まりの背景と、精神科医療の世界的な動向および日本の現状について理解できる	講義	渡部
10~11	うつ病をテーマとした映画を観て、精神を患うこと、病気を抱えながら生きることについて考えることができる	講義・演習	渡部
12	精神の健康・精神の障害とはなにかを学び、精神障害につながる危機の予防に必要な力や支援について理解できる	講義	渡部
13	事例から精神障害者の「生きにくさ」を考えることができる	講義・演習	渡部
14~15	回復を支える考え方を学び、精神障害者のリカバリーについて考え、リカバリーの視点を理解できる	講義・演習	渡部
16	試験		
講義範囲は、精神看護の基礎 精神看護学①の第3章・第4章と、精神看護の展開 精神看護学②の第13章 E・Fです。 評価点は、精神保健の試験と精神看護学概論の試験の平均点になります。			
受講上の注意 現代はストレス社会と言われる心の健康への関心が高まっています。では、心とはいったい何でしょうか？誰でも心の不調は経験しますが、どこからが病気なのでしょう？メンタルヘルスの状況の悪化、精神保健に関わる問題を疾患の枠組みからだけでとらえるのではなく、人間の生の営みという視点から誰にでも起こりうる出来事としてとらえ、精神障害者について正しく理解しましょう。		評価方法 試験 出席状況 課題提出	
使用するテキスト 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の基礎 精神看護学① 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の展開 精神看護学② 医学書院			
参考文献 ストレングスからみた 精神看護過程+全体関連図, ストレングス・マッピングシート 医学書院			

令和6年度	配当時期	1年次後期	講義担当者
科目名 老年看護学概論	単位数	1単位	木村泰子
時間割表記名 老年看護学概論、老年保健	時間数	15時間(7回)	
事前学習内容 シラバスを参考にし、事前に教科書の内容を読んでおきましょう。			
科目全体のねらい・授業目標 1 老年期にある人の身体的・精神的・社会的特徴を理解する。 2 老年看護の目的と役割を理解する。 3 老年期にある人の健康生活を支える保健・医療・福祉の連携のあり方を理解する。			
授業の流れ（全体のスケジュール（回数）・学習内容・方法・学習成果・使用テキスト・準備物品等）			
回	学習内容と成果	方法	備考
1	高齢者に対する意識調査と老年看護学概論で何を学ぶかを理解できる	講義 グループワーク	
2	人生観とライフステージにおける老年期について理解できる	講義 グループワーク	
3	健康寿命の延伸（アクティブ80ヘルスプラン・人生観）について理解できる	講義	
4	老化によるからだの変化①（細胞 全身 各諸機能①～⑥）を理解できる	講義	
5	老化によるからだの変化③（各諸機能⑦～⑩）を理解できる	講義	
6	高齢者の心理的特徴やつきあい方・社会的特徴（家族の存在）を理解できる②	講義	
7	老年看護の実践の視点を理解できる	講義	
8	試験		
筆記試験の合計点を100点満点とします。 授業態度、提出物状況も点数に反映します。 *6割未満は不合格となります。			
受講上の注意			評価方法 筆記試験 課題提出 出席状況
使用するテキスト 老年看護概論・老年保健 : 新体系看護学 メヂカルフレンド社			
参考文献			